

畠山崇の写真 2

— 京都を切り撮る —



Photos by Takashi Hatakeyama II

Shooting out Kyoto

2025年1月20日[月]-5月31日[土]

Monday, 20th January, 2025 - Saturday 31st May

開館時間：10:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日：日曜・祝日、2月25日(火)、2月26日(水)

入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

*大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料 (入館の際は、手帳の提示をお願いします)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto



1 「北野天満宮」

京都工芸繊維大学美術工芸資料館は、京都を拠点に写真家として活動した畠山崇(1944-2022)の写真(ポジフィルム、スライド、デジタルデータ等)と関連資料の遺贈を受けました。それを記念して昨年2023年度より「畠山崇の写真」展をシリーズで開催しています。二回目となる今回は、「畠山崇の写真 II 京都を切り撮る」と題して、地元京都を熟知した畠山が撮影し切り取った京都のさまざまな表情を紹介します。

京都在住であった畠山は、京都の工芸の世界、芸事の世界、華道・茶道の世界とも繋がりが深く、いけばなや器の数々、茶事や祭事などの催し、京都の家々に伝わる古美術や神社仏閣、庭園などを写し撮ってきました。それらの写真は、『淡交』『なごみ』『陶説』といった専門雑誌のみならず、『別冊太陽』『和楽』などの京都特集に掲載されてきました。

今回の展覧会では、北野天満宮や貴船神社、伏見の酒蔵など、京都の代表的な観光地でもある名所旧跡、祇園祭や京町家の情景といった京都ならではのイメージとともに、菓子や料理、日々の道具など京都の暮らしに欠かせないモノたちを切り取った写真をご覧ください。特に、身近なモノに注がれる畠山の眼差しには、「物撮り」を得意とした写真家らしい個性が宿っています。それは光と影そして形に対する冷徹な計算とモノの温かみの両方を同時に感じさせるもののように思われます。

なお、今回の展示写真は35mmスライドフィルムのデジタルスキャンによるプリントと、4x5ポジフィルムをデジタルスキャンしたプリントで構成されています。雑誌掲載時の写真は誌面構成に応じてさまざまにトリミングされていますが、今回はほぼ撮影時のままトリミングなしの状態でのプリントを展示しています。

表面「京町家」

同時開催

「パリからお越しのミロのヴィーナス—京都高等工芸学校のデッサン教育」

2025年1月14日(火)～2月22日(土)

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
- ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
- ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.



2 「貴船神社」



3 「豆腐」



4 「干菓子」

